

生駒市における
今後の小中一貫教育を進めるにあたって取り組むべき事項（素案）

○小中一貫教育の内容

- (1) 義務教育 9 年間の教育課程の編成
 - ・ 系統性のある義務教育 9 年間の一貫したカリキュラムの作成
 - ・ 児童生徒の発達段階を踏まえたカリキュラムの編成
- (2) 発達段階に応じた指導の展開
 - ・ 専門性を活かした教育として小学校に一部教科担任制を導入
 - ・ 異学年交流の推進
 - ・ 幼小接続の推進
- (3) グローバル時代に対応する英語教育の推進
 - ・ 小学 1 年生からの「英語活動」の充実
 - ・ 「英語活動」など英語教育における乗り入れ授業の実施
- (4) 問題解決に向けた主体的・対話的で深い学びの充実
 - ・ ICT 機器を活用した授業の推進
 - ・ グローバル時代に対応するプレゼンテーション能力の育成
- (5) 学校施設を有効的に活用した教育の充実
 - ・ 学校図書館を中心とした読書活動の推進
 - ・ 多目的室や会議室などを有効活用した地域との連携
- (6) 地域と連携した教育活動の展開
 - ・ 茶釜作りなど地域教材を積極的に活用した学習内容の実施
 - ・ 地域人材を活用した出前授業の実施